あなたがいたから、
ここにいる。

CVIT

命を救う、その現場で。
日本では、年間約10万人が急性心筋梗塞を発症し、
多くが緊急カテーテル治療を受けています。

40年前、治療法が確立していなかった時代、
死亡率は20%を超えていました。
今、それは6%にまで低下しています。

しかし、患者の高齢化と重症化が進む一方、
働き手は増えず、現場の声が届かない改革。
当直だけで緊急カテーテル治療に対応できる施設は、
わずか8%。

それでも、命を救う現場は維持できています。
なぜか？

いつもあなたが、
寒い日も、暑い日も、お正月も、お盆も、クリスマスも、
そこに来てくれたから、そこに立ち続けてくれたから。

あきらめないあなたがそこにいたから、
私たちはここにいます。ありがとう。